

はばたき 児童発達支援自己評価表

公表:平成 30 年 4 月 26日

事業所名 はばたき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		当該年度児童発達支援のご利用はないが、環境設定はできている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		当該年度児童発達支援のご利用はないが、環境設定はできている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		当該年度児童発達支援のご利用はないが、環境設定はできている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		当該年度児童発達支援のご利用はないが、環境設定はできている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	当該年度利用実績なし。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○	当該年度利用実績なし。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	当該年度利用実績なし。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	当該年度利用実績なし。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内外の研修を周知し参加し、研修報告を職員間で共有している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している		○	当該年度利用実績なし	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		相談事業所よりの情報を共有している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている		○	当該年度利用実績なし	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている		○	当該年度利用実績なし	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		環境設定はできている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		環境設定はできている。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している		○	当該年度利用実績なし		

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		環境設定はできている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		環境設定はできている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		環境設定はできている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		環境設定はできている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		環境設定はできている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	当該年度利用実績なし	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		環境設定はできている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		環境設定はできている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		環境設定はできている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		環境設定はできている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		環境設定はできている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		環境設定はできている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		自立支援協議会児童部会に参画	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		環境設定はできている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		環境設定はできている。	
保護者への説明	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		環境設定はできている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		○	当該年度利用実績なし	

責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○	当該年度利用実績なし	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	当該年度利用実績なし	
非常時等の対応	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		環境設定はできている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		環境設定はできている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		環境設定はできている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		環境設定はできている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		事業所を開放し開催する行事等で地域住民参加型の教室やサロンを行っている。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		防犯マニュアルは今後作成し周知していきます。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		環境設定はできている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	当該年度利用なし	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	当該年度利用なし	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		内外の研修を周知し参加し、研修報告を職員間で共有している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			身体拘束は行わない。	

はばたき 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			間仕切り等を利用して学習・創作活動等に合わせたスペースを確保している
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			人員配置基準を上回る人員配置を行っているが、より充実した支援のために職員募集をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			バリアフリー化の実施済。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		<input type="radio"/>		定期的な会議の場で、課題解決や業務改善を目指している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			今後もアンケートを実施し質の向上に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			今後も法人ホームページに掲載し公開していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	今後検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			内部研修の継続的な実施や外部研修等への積極的な参加を促している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			児童発達支援管理者を二人体制とすることで、きめ細かな対応を実践している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		オリジナルなツールを使用していたが、計画相談事業所からの情報で対応している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		<input type="radio"/>		主に児童発達支援管理責任者(以下児発管)と管理者で行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			地域の広報誌等様々なメディアからの情報をもとに、プログラムが固定しないようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			日々の活動プログラムを立て支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			当日の利用児の健康状況等を鑑みて、プログラムの選択肢を提供している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			職員ミーティングでの共通理解や職員連絡帳に記載する等を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		<input type="radio"/>		全員での振り返りは翌日のミーティングで実施し、当日は必要に応じて終了後に在席する職員で情報交換している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		<input type="radio"/>		共通した視点での記録の取り方ができるように共通シートの活用を予定している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		計画相談事業所へのモニタリング報告に合わせたタイミングで実施時期に判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○		自立・創作・地域交流を活動プログラムに取り入れた余暇支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		継続して実施していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		継続して実施していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				対象となる受入れケースがありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				対象となる受入れケースがありません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		必要に応じケース会議等で情報提供を行っているが、主に計画相談事業所への情報提供となっている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		専門機関の助言を受けるには至っていないが研修には積極的に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		地域の催し等への参加を活動プログラムに取入れ交流の場を設けている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		自立支援協議会 児童部会への出席や、主催事業にも参画している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		ご利用時の様子を連絡帳で伝えるとともに、送迎時に直接保護者様へお伝えする等を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		講演会の開催や電話や面談等での相談対応を行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		ご契約に際して児発管は、懇切丁寧な説明を心掛け、後のお問い合わせ等にも同じく対応させて頂いている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		ご相談を受けた際には、必要な助言や支援を行うとともに関連機関のご紹介を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		講演会等を開催しているが、保護者連携の支援には至っていない。今後検討の必要を感じている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			担当窓口を設置し対応に当たっている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人情報誌の配布等継続していきます。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			取り扱いに十分な注意と施錠保管。全ての職員が守秘義務の誓約書済み。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			特性把握に努め、配慮した伝達を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		事業所を開放し開催する行事等で地域住民参加型の教室やサロンを行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		防犯マニュアルは今後作成し周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			継続して実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			内部研修の継続的な実施や外部研修等への積極的な参加を促している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				身体拘束をしていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者からの聞き取り内容を職員に周知し個別に対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		事例集の作成には至っていないが、発生時には必ず職員間で共有している。